

# 日本における陸上競技の普及と発展に関する研究

## A study on spread and development of track and field in Japan

1K06B051

指導教員 主査 友添秀則先生

大高健太郎

副査 磯繁雄先生

### 【本研究の動機】

私は、中学校から陸上競技を始め、現在までの10年間に渡って競技生活を送ってきた。その中で、幾つもの陸上競技の試合を観てきたが、特に観客の少なさがいつも気になっていた。日本では野球やサッカーといったスポーツが非常に人気であり、代表の試合となるとスタジアムはほぼ満席になり、メディアにも大きく取り上げられ、その注目を集めている。陸上競技は記録という結果で勝敗を決めるため、非常にシンプルなスポーツであり、見ている側からも非常に解り易いやすいものであると思う。また、小学校、中学校、高校と学校教育の中でほとんどの人が陸上競技を知り、実際に競技を体験したことがあるものである。また、過去2回にわたり日本で世界選手権も開催され、マイナー競技とは決して言えない陸上競技はなぜあまり人気がないのか。大学を卒業するに当たり、競技の第一線からは退くが、これからも陸上競技に関わっていきたいと考えている。そこで、日本の陸上競技はどのような経緯で始まり、発展していったのかを明らかにし、今後の更なる発展のための方法を考えたいと思い、本研究のテーマを設定した。

### 【本研究の目的】

本研究の目的は、陸上競技の歴史、特に日本における明治期の陸上競技の移入から普及の歴史的経緯を明らかにする。日本における陸上競技の発展のための方法を検討する。

### 【本研究の方法】

本研究は、以下の方法により進める。陸上競技の歴史に関する書籍、文献を参考に行う。また、陸上競技の発展の方法を述べるに当たり、日本陸上競技連盟の方にインタビューを行い、考察する。

### 【各章の概要】

#### 第1章 陸上競技のはじまり

陸上競技の起源は、古代オリンピアにまで遡る。祭典競技としてはじまり、記録の概念の無い中、勝ち負けにこだわる競技であった。現代の競技としての陸上競技の歴史は、主にイギリスとアメリカにおいて競技会形式で発展し、競技団体が成立し、競技ルールが作られていく。そして、近代オリンピックの競技種目として採用されたことで、世界に陸上競技が広まってゆく。

#### 第2章 日本における陸上競技の歴史

わが国での陸上競技は、明治時代の築地の海軍兵寮学校における遊戯会にはじまり、その後札幌農学校の遊戯会、東大の運動会と続いてゆく。中でも東大の運動会は、陸上競技だけではなくその他の競技種目の競技会にも影響を与えるものであった。その後、一高での運動会、地方での各運動会、長距離の隆盛によって、日本中に陸上競技が普及し始める。その背景には、教育機関の中での運動会として、発展してきた経緯があり、当時の教育機関は非常に重要なものであった。

### 第3章 これからの日本の陸上競技

日本陸上競技連盟の方にインタビューを行い、現在の日本の陸上競技の現状と競技普及における問題点を挙げた。陸上競技普及のための問題点として、中学生競技者人口の縮小や指導者不足などが挙げられ、さらにメディアに対しても、積極的な露出が求められる。

### 結章

本研究のまとめをし、今後の日本における陸上競技の普及方法について提言をしていく。